

単語	意味
ISO14001	社会経済的ニーズとバランスをとりながら、環境を保護し、変化する環境状態に対応するための組織の枠組みを示す、環境マネジメントシステムに関する国際規格。
IoT	Internet of Things（「モノ」のインターネット）の略。電化製品、自動車、医療機器など、パソコンやサーバーといったコンピュータ以外の多種多様な「モノ」がインターネットに接続され、相互に情報をやり取りすることであり、様々な企業や業種においてIoTによる生産性や品質の向上が期待されている。
ICT	Information and Communication Technologyの略。コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称。IT(Information Technology)に比べ、情報流通の重要性を意識して用いられる。
アセットマネジメント	社会ニーズに対応した下水道事業の役割を踏まえ、下水道施設（資産）に対し、施設管理に必要な費用、人員を投入（経営管理、執行体制の確保）し、良好な下水道事業サービスを持続的に提供するための事業運営
アップサイクル	本来は捨てられてしまうようなものにアイデアやデザインを付加して新たな価値を生み出すこと。
ESG金融	企業分析・評価を行なう上で長期的な視点を重視し、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）情報を考慮した投融資行動をとることを求める取り組み。
エコアクション21	中小企業、学校、公共機関などの広範な事業者が、環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告するための方法として、環境省が策定したエコアクション21ガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度。
エネルギーマネジメントシステム	ICT（情報通信技術）を活用し、エネルギー使用状況の**「見える化」、「分析」、「最適制御」を行うシステム。
OECM	Other Effective area-based Conservation Measuresの略。国立公園等の保護地域以外で生物多様性保全に資する地域のこと。
オープンイノベーション	企業等が自社のリソース（技術、アイデアなど）だけでなく、外部（他社、大学、研究機関など）の知識や技術を積極的に取り入れて、革新的な製品やサービス、事業モデルなどを創出するイノベーション手法。
オフサイトPPA	再エネ電源の所有者である発電事業者（ディベロッパー、投資家等含む）と電力の購入者（需要家等）が、事前に合意した価格及び期間における再エネ電力の売買契約を締結し、需要地ではないオフサイトに導入された再エネ電源で発電された再エネ電力を、一般の電力系統を介して当該電力の購入者へ供給する契約方式。
温室効果ガス排出削減計画書制度	「静岡県地球温暖化防止条例」に基づき、事業活動により排出される温室効果ガスの削減を図るため、規則で定める事業者に対して、温室効果ガス排出削減計画等の作成及び県への提出を求め、それを県が公表することにより、社会や市場での評価を通じて自主的・計画的な取組を促進するもの。
化学的酸素要求量（COD）	水中の有機物を酸化剤で酸化した際に消費される酸素の量。湖沼、海域の有機物による水質汚濁の程度を示す代表的な指標であり、この値が大きいほど、水中に有機物等が多く、汚濁負荷（汚濁の度合い）が大きいことを示している。
環境学習指導員	県内で活動する環境学習指導者のうち、一定の要件のもと県や市町の登録を受けた者。地域や学校等で開催される環境学習会の講師や環境保全活動のリーダー等として活動している。
環境ビジネス	環境問題の解決に貢献する製品やサービスを提供するビジネス。環境省は、供給する製品・サービスが、環境保護及び資源管理に直接的または間接的に寄与し、持続可能な社会の実現に貢献するビジネスとして定義し、具体的には「環境汚染防止」、「地球温暖化対策」、「廃棄物処理・資源有効活用」、「自然環境保全」の4つに分類している。
くくりわな	鳥獣の通り道などに設置しておいた針金やワイヤーロープなどで作った輪によって、鳥獣の足や体をくくり捕らえるわなのこと。
グリーンボンド	企業や地方自治体等が、地球温暖化対策など幅広い環境に関するプロジェクトに取り組むための資金調達として発行される債券。
クルボ	静岡県の地球温暖化防止のための県民運動「ふじのくにCOOLチャレンジ」の温暖化対策アプリ。スマートフォンにアプリをダウンロードして脱炭素アクション（環境に配慮した行動）をするとポイントを獲得することができ、貯まったポイントに応じて、商品券・お食事券などの商品が当たる抽選に参加できる。
光化学オキシダント	大気中の炭化水素や窒素酸化物が太陽などの紫外線を吸収し、光化学反応で生成されたオゾン等酸性物質の総称。粘膜への刺激、呼吸への影響といった健康影響のほか、農作物など植物へも影響を与える。環境基本法に基づき環境基準が設定されている。
サイクルツーリズム	自転車を活用して地域探訪や観光地を巡る観光スタイル。
30 by 30	2030年までに、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする国際的な目標。
3次元点群データ	UAV（※1）写真測量、地上レーザスキャナ等による3次元測量によって得られた3次元座標（1点ごとに緯度、経度、標高の位置情報）を持った点の集まりのデータ。 ※1 無人航空機（unmanned aerial vehicle）の略称。通称ドローンと呼ばれる。
CSR	企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）の略。社会的公正や環境などへの配慮を組み込み、従業員、投資家、地域社会などの利害関係者に対して責任ある行動をとるとともに、説明責任を果たしていくことを求める考え方。
CSV経営	企業が事業活動を通じて社会的な課題を解決し、経済的な価値も同時に創出する経営戦略のこと。
J-クレジット	省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。
自然共生サイト	令和5年度から環境省が開始した制度で、民間企業、NPO、市町村などが生物多様性の保全を目的に取り組む区域として認定された場所を指し、企業の森、里地里山、都市の緑地などが対象となる。 また、令和7年4月施行の「地域生物多様性増進法」に基づき、企業や市町村などが作成する活動計画が主務大臣（環境大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）に認定され、その活動が行われる区域が自然共生サイトとして認められる。
住宅ストック	ある一時点における既存の住宅（数）のこと。ストックとは「在庫」の意味。
スタートアップ	まだ世の中にない革新的な技術やサービス、新たな価値を生み出す新興企業の総称。
3R	発生抑制（リデュース：Reduce）、再使用（リユース：Reuse）、再資源化（リサイクル：Recycle）という循環型社会形成のための3つの言葉を英単語にし、その頭文字のRをとったものをいい、「スリーアール」と読む。
製材JAS	JAS法に基づいて制定された日本農林規格(JAS規格)に適合した木材製品。品質や性能が保証されており、構造計算に利用できる標準化された材料の供給を目的とし、JASマークが貼付される。
生物化学的酸素要求量（BOD）	水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量。河川の有機物による水質汚濁の程度を示す代表的な指標であり、この値が大きいほど、水中に有機物等が多く、汚濁負荷（汚濁の度合い）が大きいことを示している。

Z E B	net Zero Energy Buildingの略。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。
Z E H	net Zero Energy Houseの略。快適な室内環境を実現しつつ、省エネルギー性能の向上等により使用するエネルギーを減らし（省エネ）、太陽光発電設備等で再生可能エネルギーからエネルギーを創る（創エネ）ことで、建物で消費するエネルギーの収支をゼロにすることを目指す住宅のこと。
C N F（セルロースナノファイバー）	植物繊維をナノオーダー（1mmの百万分の1）までに微細化することで得られる産業資源。植物由来のため環境負荷が少なく、リサイクル性に優れている。軽量、頑丈、自由な成形が可能、温度変化に伴う伸縮が少なく寸法が安定といった特徴を兼ね備えることから、様々な産業分野における用途展開が期待されている。
地域マイクログリッド	平常時には再生可能エネルギーを効率よく利用し、非常時には送配電ネットワークから独立し、エリア内でエネルギーの自給自足を行う送配電の仕組み。
茶草場農法	秋冬期に茶園周辺のススキやササなどの草を刈り茶園に敷く、伝統的な農法
バイオマスマーク	生物由来の資源（バイオマス）を利用した商品に表示できる目印
デジタルサイネージ	液晶ディスプレイやLEDパネルなどの電子表示装置を用いて、広告や案内、ニュースなどをリアルタイムで配信するシステム
フードシェアリング	まだ食べられるのに、本来なら廃棄されてしまう食品を、それを必要とする消費者とマッチング（つなぐ）させることで、食品ロスを減らす仕組み。
フードドライブ	家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動
フードバントリー	寄附された食品を加工・調理せず、最終受益者に直接提供する者をいう。配送や無人倉庫などの形態をとる主体を含む。
フードバンク	寄附者から提供された寄附食品の保管等を行いつつ、フードバントリー等やこども食堂等へ配布する主体をいう。
ペロブスカイト太陽電池	発電層にペロブスカイト結晶構造を持つ化合物で製造された太陽電池。従来型の太陽電池と比べ、変換効率が同レベルでありながら、軽量かつ柔軟な素材であり、既存のシリコン系太陽電池が設置できなかった場所への設置が可能。
レッドリスト	絶滅のおそれのある野生生物の名称やカテゴリーについてとりまとめたリストのことで、それ自体が法的規制等の強制力を持つものではないが、効果的な保護対策を推進できるよう、野生生物のおかれている状況を広く一般に理解してもらうために、情報提供するもの。
ローリングストック	普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法。